

# SBIインド & ベトナム株ファンド

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書 第 15 期

(決算日：2014年12月4日)

(作成対象期間：2014年6月5日～2014年12月4日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「SBIインド&ベトナム株ファンド」は、2014年12月4日に第15期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木 1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、  
レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.co.jp/>

### 第 15 期末 (2014 年 12 月 4 日)

基準価額	8,929 円
純資産総額	10,817 百万円
<b>第 15 期</b> <b>(2014 年 6 月 5 日～2014 年 12 月 4 日)</b>	
騰落率(分配金再投資ベース)	29.6%
分配金合計	0 円

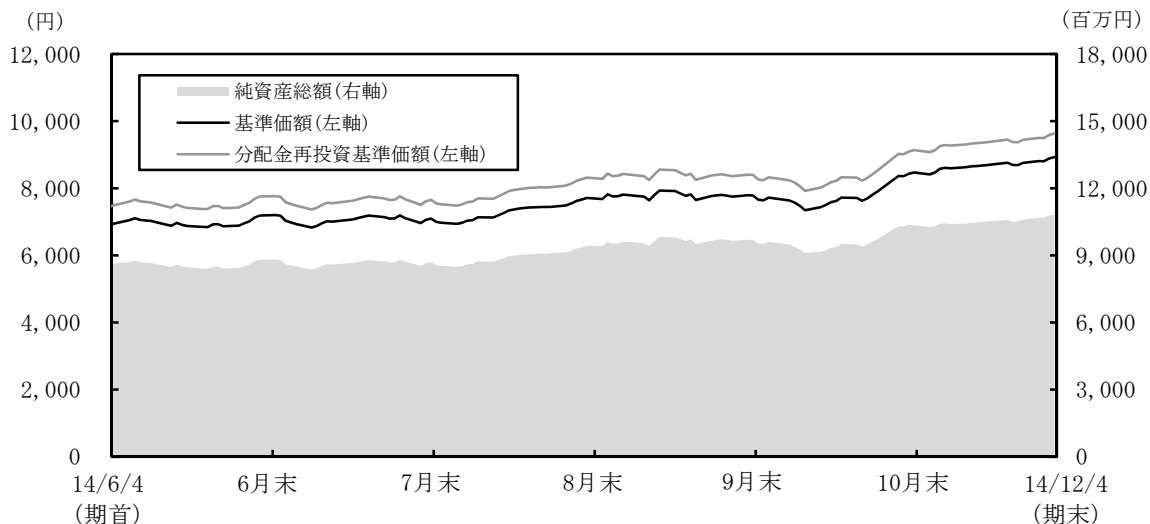
当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めています。運用報告書(全体版)は、下記の手順にてご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

## ◆ 運用経過 ◆

### 1. 基準価額等の推移(2014年6月5日～2014年12月4日)



第 15 期首 : 6,892 円

第 15 期末 : 8,929 円 (既払分配金 : 0 円)

騰 落 率 : 29.6%

(注 1) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、ベンチマークは採用しておりません。また、適当な参考指標もないため当ファンドのみ表記しております。

(注 2) 騰落率は、分配金再投資基準価額をベースに算出しております。

\* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算した値で、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### 2. 基準価額の変動要因

当期の基準価額は、インド新政権への政策期待に伴うインド株式市場の上昇などを受けて、ほぼ一貫して上昇基調で推移しました。当ファンドの基準価額は、7月14日に当期の最安値である6,830円をつけた後、新政権が発表・実施した国家予算案の内容や改革が評価されたことや、GDP成長率などをはじめとする経済指標が概ね市場予想を上回ったことなどが好感され、インド株式市場は外国人投資家からの資本流入が続き、上昇基調が継続しました。また、インド準備銀行のラジャン総裁の金融政策への信認が高まったことや、日銀の追加金融緩和により、通貨インドルピーが対円で上昇したことも基準価額の上昇に拍車を掛けました。インド株式市場の上昇とインドルピーの上昇を受けて、当ファンドの基準価額は期末にかけて一段高となり、12月4日に当期の最高値である8,929円をつけて当期末を迎えました。当期の騰落率は+29.6%の上昇となりました。

### 3. 1万口当たりの費用明細

項 目	第 15 期 (2014年6月5日～ 2014年12月4日)		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	83円 ( 51) ( 29) ( 3)	1.08% (0.66) (0.38) (0.04)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は7,663円です。 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	9 ( 9)	0.12 (0.12)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	7 ( 7)	0.09 (0.09)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	50 ( 8) ( 1) ( 42)	0.66 (0.10) (0.01) (0.54)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他費用は、インド株式の売買益におけるキャピタルゲイン課税等
合 計	149	1.94	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

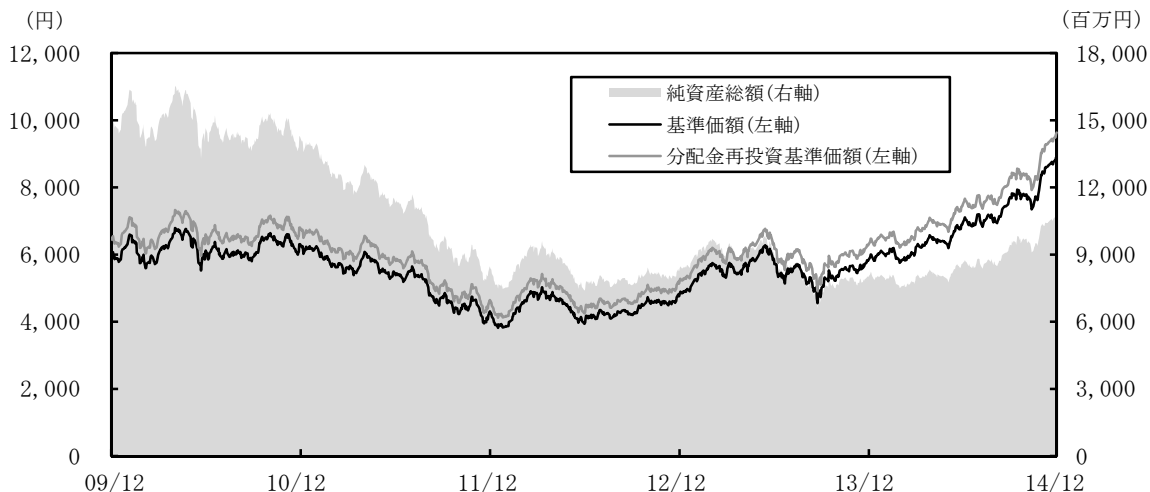
(注2) 期中平均基準価額は、各月末の値の平均です。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

#### 4. 最近5年間の基準価額等の推移 (2009年12月4日～2014年12月4日)



	2009/12/4 期初	2010/12/6 決算日	2011/12/5 決算日	2012/12/4 決算日	2013/12/4 決算日	2014/12/4 決算日
基準価額(円)	5,978	6,245	4,308	4,758	5,823	8,929
期間分配金合計(税込み・円)	—	0	0	0	0	0
騰落率(%)	—	4.5	▲31.0	10.4	22.4	53.3
SENSEX 指数騰落率(%)	—	16.8	▲15.9	15.1	7.0	37.9
VN 指数騰落率(%)	—	▲5.9	▲16.0	▲2.3	33.7	13.2
純資産総額(百万円)	14,961	14,099	8,478	8,257	8,005	10,817

(注1) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、ベンチマークは採用しておりません。また、適当な参考指標もないため投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として、インドではSENSEX指数<sup>\*</sup>、ベトナムではVN指数<sup>\*</sup>を記載しております。

(注2) 騰落率は、分配金再投資基準価額をベースに算出しております。

※ 各指数は円建て

\* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算した値で、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

●代表的な指数に関して

- SENSEX 指数は、インドのムンバイ証券取引所に上場する銘柄のうち、流動性・取引規模・業種等を代表する30銘柄で構成された時価総額加重平均指数のことで、インド株式市場の代表的な株価指数です。
- VN 指数は、ベトナムの最大都市ホーチミンにあるホーチミン証券取引所に上場の全銘柄から構成される時価総額加重平均指数のことで、ベトナム株式市場の代表的な株価指数です。

## 5. 投資環境

---

### ○インド株式市場

(2014年6月)

- ・インド株式市場は、新政権による当初の政策メッセージが市場から高い評価を受け、強含みで取引を終了しました。

(7月)

- ・新政権発足後初となる国家予算案が提出されたことや、マクロ経済指標も大半が前向きな内容になったことを受けて、上昇基調が続きました。

(8月)

- ・市場予想を上回るGDP成長率の発表や外国人投資家の大幅買い越しなどを受けて一段高となりました。

(9月)

- ・外国人投資家の買い越しが国内投資家の売り越しを吸収したことにより底堅い相場展開となり、前月末比ほぼ横ばいで取引を終えました。

(10月)

- ・米景気の回復基調や、州議会選挙が予想外に好ましい結果となったことなどを好感し、月後半にかけて大きく上昇する展開となりました。

(11月)

- ・原油相場下落によるインフレ率の低下や利下げへの期待感などにより、上昇基調が継続しました。

### ○ベトナム株式市場

(2014年6月)

- ・ベトナム株式市場は、上下動を繰り返したものの、下落局面では外国人投資家の買いが入ったことにより底堅い展開となり、月末にかけて反発しました。

(7月)

- ・国内外の投資家による買い越し基調や、ベトナムと中国の領土問題を巡る緊張が和らいだことにより、上昇基調で取引を終えました。

(8月)

- ・良好な米経済指標の発表などを受け、外国人投資家が買い越しに転じたことから、下旬にかけて急騰し、VN指数は月間で+6.8%上昇しました。

(9月)

- ・上昇ピッチが速かったことにより利益確定売りが優勢となり、月を通じてほぼ調整局面となりました。

(10月)

- ・月半ば以降は下落局面となりましたが、中央銀行が預金金利の上限引き下げを発表したことから反発に転じ、前月末比で若干上昇して取引を終えました。

(11月)

- ・対ドルでドン安が進んだ影響などにより下落に転じました。月末にかけては、原油安観測を受け、石油・ガス関連銘柄を中心に一段安となりました。

## 6. 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、2007年7月25日に設定され、2014年12月4日に第15期決算を迎えました。

当ファンドは、「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」、「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」、「SBIAM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」各受益証券を通じ、主としてインド及びベトナムの株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行っております。

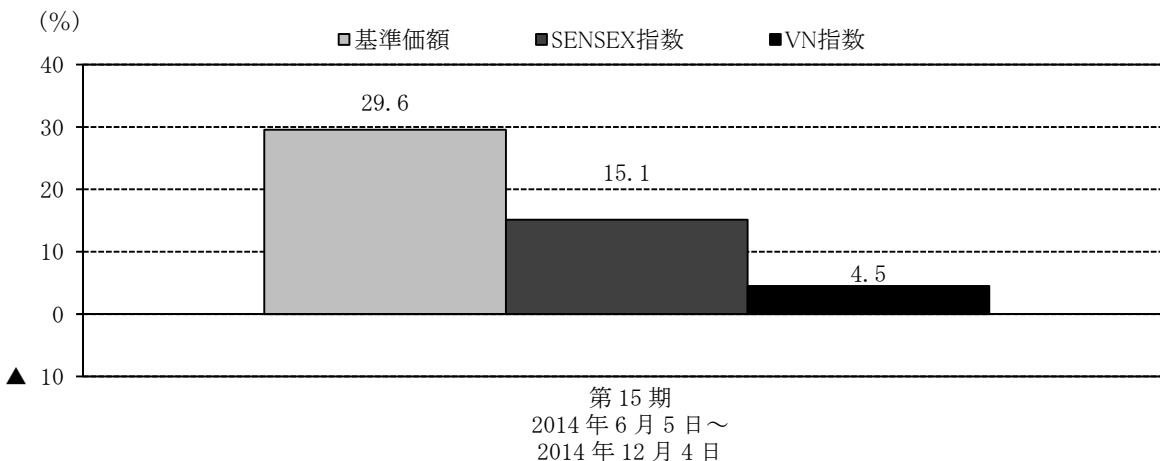
## 7. 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、ベンチマークは採用しておりません。

また、適当な参考指数もないことから当ファンドの基準価額と、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数としてインドではSENSEX指数<sup>\*</sup>、ベトナムではVN指数<sup>\*</sup>を記載しております。

※各指数は円建て

基準価額と代表的な指数の対比（騰落率）



## 8. 分配金

当ファンドの収益分配方針に基づき収益分配可能額を算出し、市況や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないこととしました。

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

	第 15 期 (2014年6月5日～ 2014年12月4日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	385

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

### ◆ 今後の運用方針 ◆

#### ○インド株

インドのモディ首相が強い指導力を発揮することにより、新政権がさらなる構造改革を進め、政策を実行に移していくことが期待されているため、インド経済やインド株式市場の見通しに関しては、引き続き前向きな見方をしています。新政権はインフラ整備に注力していることから、これまで停滞していたインフラ関連の開発プロジェクトが再開されるとともに、政策支援に伴うマクロ経済の改善により、インドの経済成長が加速する可能性も想定されます。こうした動きは、企業の景況感や消費者の信頼感の改善を促し、設備投資や消費需要の拡大をもたらすことになるでしょう。

以上の見通しにより、インド株については、各マザーファンドの受益証券の組入れを通じ、ポートフォリオの80%前後の比率を目標として運用する方針です。

#### ○ベトナム株

ベトナム経済は、2014年7-9月期の実質GDP成長率が+6.19%となり、2011年以来の3年振りの高い伸びとなるなど、依然として好調です。一方、ベトナムのインフレ率は2014年11月の消費者物価指数が前年同月比+2.6%に留まり、5年振りの低水準に落ち着いています。このように、ベトナムは経済成長が勢いを取り戻し物価が安定する中、米国向けを中心に輸出が伸びていることから、高成長が継続する見通しです。また、ベトナム株式市場は、原油安の進行などを背景に短期的には相場が下振れる可能性はあるものの、好調なベトナム経済を背景に、中長期的には緩やかな上昇基調が継続すると見込まれます。

以上の見通しにより、ベトナム株については、ポートフォリオの15%前後の比率を維持して運用する方針です。

### ■約款変更のお知らせ

投資信託法改正施行に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

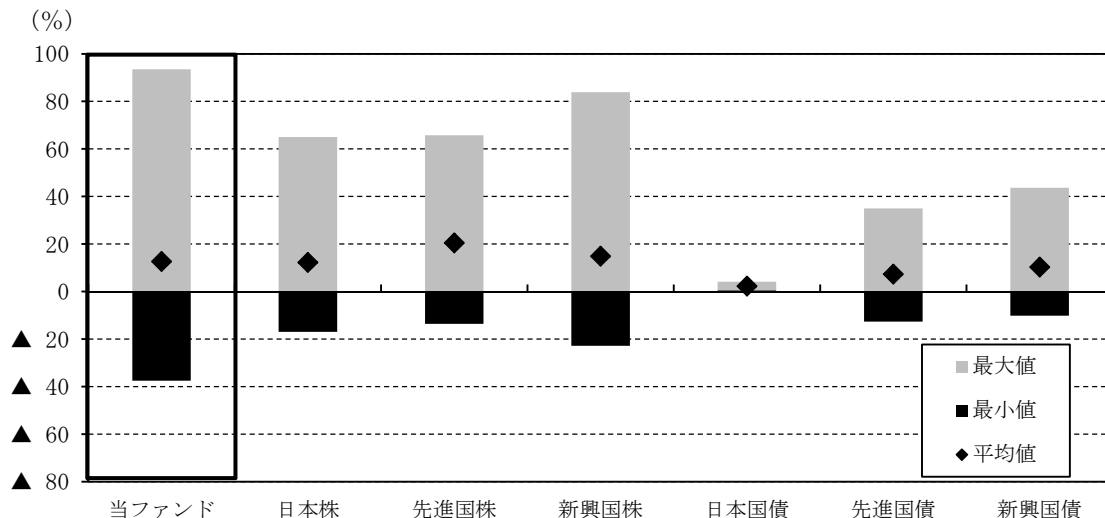
(変更日：2014年12月1日)

◆ 当該投資信託の概要 ◆

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	原則として無期限(クローズド期間はありません)	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」受益証券(以下「マザーファンド」といいます。)を主要投資対象とします。
	ロイド・ジョージ インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	ステイト・バンク・オブ・ インド インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	S B I A M インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	S B I A M ベトナム株・ マザーファンド	ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)ならびに当該株式の値動きに連動する債券、新株引受権証券等を主要投資対象とします。
当ファンドの 運用方法	各マザーファンドを通じて主にインド及びベトナムの株式に投資を行います。マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。ベトナム株への実質的な投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産において、原則為替ヘッジは行いません。	
分配方針	毎決算時に、基準価額水準及び市場動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等、委託者の判断により収益分配を行わないこともあります。	



◆ 代表的な資産クラスとの騰落率の比率 ◆ (2009年11月末～2014年11月末)



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	93.5	65.0	65.7	83.9	4.1	34.9	43.7
最小値	▲37.5	▲17.0	▲13.6	▲22.8	0.4	▲12.7	▲10.1
平均値	12.6	12.3	20.4	14.9	2.3	7.3	10.3

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記のグラフは、過去5年間の当ファンドおよび代表的な資産クラスの指数について、1年騰落率の最大・最小・平均を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は直近月末から60カ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資したもとして計算した、分配金再投資基準価額より算出しております。

<各資産クラスの指数>

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI KOKUSAI (コクサイ)・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシフィア  
インド (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数についての詳細は、最終ページをご参照ください。

\* 代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、SBIアセットマネジメントはその内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

## ◆ 当該投資信託のデータ ◆

### 1. 当該ファンドの組入資産の内容

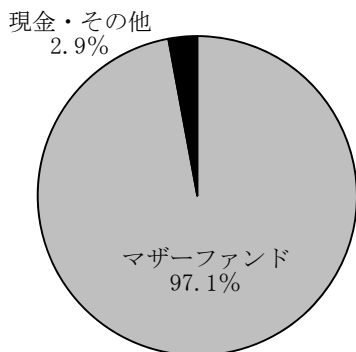
#### ● 組入ファンド銘柄

	第15期末 2014年12月4日
ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド	33.8%
ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド	33.8%
SBIAM インド株・マザーファンド	13.9%
SBIAM ベトナム株・マザーファンド	15.6%
コール・ローン等、その他	2.9%

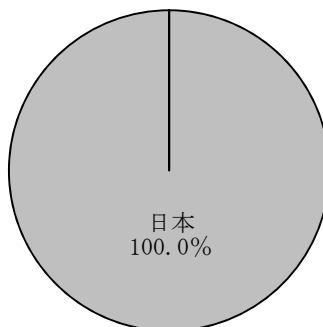
(注1) 組入比率は、純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

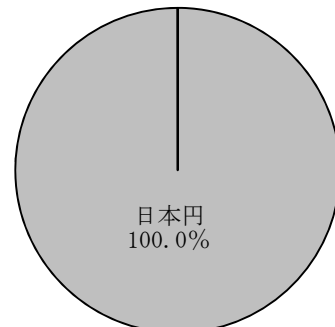
#### ● 資産別配分



#### ● 国別配分



#### ● 通貨別配分



(注) 国別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

※表示単位未満は四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります。

### 2. 純資産等

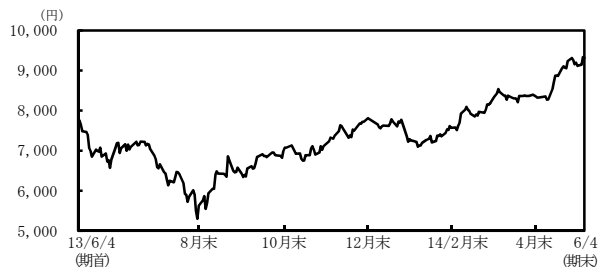
項目	第10期末	第11期末	第12期末	第13期末	第14期末	第15期末
	2012年6月4日	2012年12月4日	2013年6月4日	2013年12月4日	2014年6月4日	2014年12月4日
純資産総額(円)	7,418,360,853	8,257,926,743	9,077,553,514	8,005,816,129	8,574,894,914	10,817,565,372
受益権総口数(口)	18,765,708,023	17,355,521,368	15,535,908,574	13,749,448,205	12,441,940,733	12,114,635,693
1万口当たり基準価額(円)	3,953	4,758	5,843	5,823	6,892	8,929

(注) 当ファンドの期首元本額は12,441,940,733円、期中追加設定元本額は1,279,930,042円、期中一部解約元本額は1,607,235,082円です。

### 3. 組入上位ファンド（銘柄）の概要

【ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド】（2014年6月4日現在）

#### ● 基準価額の推移



#### ● 1万口当たりの費用明細

項目	2013年6月5日～ 2014年6月4日
(a) 売買委託手数料 (株 式)	17円 ( 17)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	7 ( 7)
(c) 保管費用等	16
合計	40

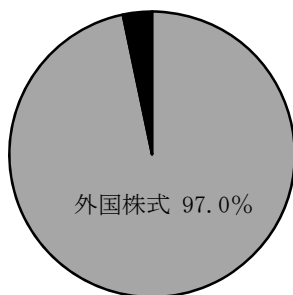
#### ● 組入上位 10 銘柄

銘柄名	業種	比率(%)
ICICI銀行	銀行	6.47
HDFC銀行	銀行	6.01
ITC	食品・飲料・タバコ	5.50
タタ・コンサルタンシー・サービス	ソフトウェア・サービス	5.00
HDFC	銀行	4.98
ラーセン&トウプロ	資本財	4.79
HCLテクノロジー	ソフトウェア・サービス	4.02
インドステイト銀行	銀行	3.74
インフォシス	ソフトウェア・サービス	3.57
イエス銀行	銀行	3.36
組入銘柄数	39 銘柄	

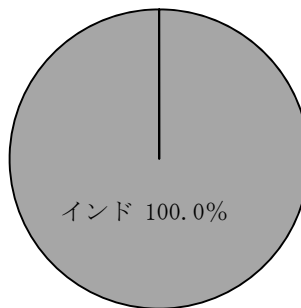
※当マザーファンドの純資産額総額に対する比率です。  
※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

#### ● 資産別配分

現金・その他 3.0%

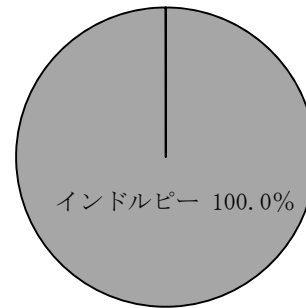


#### ● 国別配分



#### ● 通貨別配分

日本円 0.0%



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2014 年 6 月 4 日現在のものです。

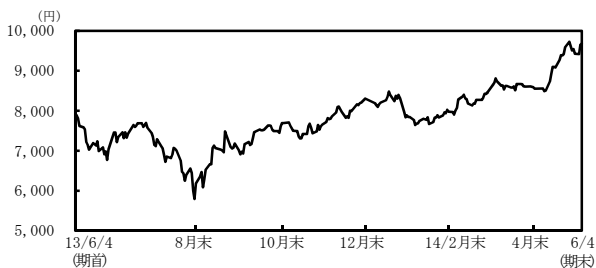
(注2) 1 万口当たりの費用の明細は、「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド」の直近の決算期のものです。費用項目については 2 頁の注記をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

※表示単位未満は四捨五入しており、合計が 100%にならない場合があります。

【ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド】(2014年6月4日現在)

● 基準価額の推移



● 1万口当たりの費用明細

項目	2013年6月5日～ 2014年6月4日
(a) 売買委託手数料 (株 式)	37円 ( 37)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	30 ( 30)
(c) 保管費用等	67
合計	134

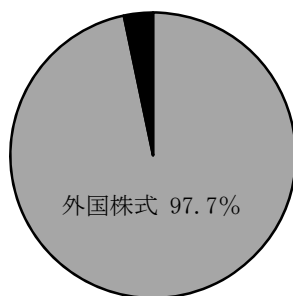
● 組入上位10銘柄

銘柄名	業種	比率(%)
リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	7.98
HDFC	銀行	7.50
インフォシス	ソフトウェア・サービス	6.19
タタ・コンサルタンシー・サービス	ソフトウェア・サービス	4.66
ICICI銀行	銀行	3.85
ラーセン&トウプロ	資本財	3.67
I T C	食品・飲料・タバコ	3.20
インドステイト銀行	銀行	3.09
HDFC銀行	銀行	3.05
ユナイテッド・スピリッツ	食品・飲料・タバコ	2.56
組入銘柄数	59銘柄	

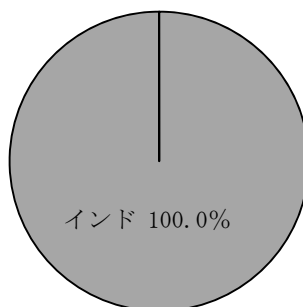
※当マザーファンドの純資産額総額に対する比率です。  
※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

● 資産別配分

現金・その他 2.3%

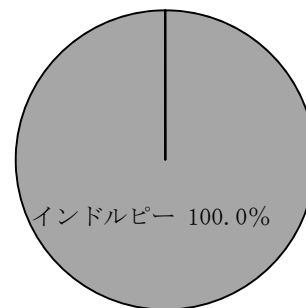


● 国別配分



● 通貨別配分

日本円 0.0%



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2014年6月4日現在のものです。

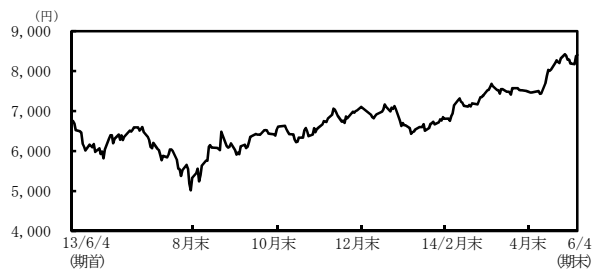
(注2) 1万口当たりの費用の明細は、「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド」の直近の決算期のものです。費用項目については2頁の注記をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

※表示単位未満は四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります。

【SBIAM インド株・マザーファンド】(2014年6月4日現在)

● 基準価額の推移



● 組入上位 10 銘柄

銘柄名	業種	比率(%)
リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	8.75
ITC	食品・飲料・タバコ	8.40
ICICI銀行	銀行	7.58
HDFC銀行	銀行	7.15
インフォシス	ソフトウェア・サービス	6.67
HDFC	銀行	6.42
ラーセン&トウプロ	資本財	6.25
タタ・コンサルタンシー・サービス	ソフトウェア・サービス	5.65
インドステイト銀行	銀行	4.04
インド石油ガス公社	エネルギー	4.01
組入銘柄数	30 銘柄	

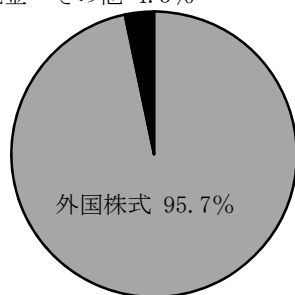
※当マザーファンドの純資産額総額に対する比率です。  
 ※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

● 1 万口当たりの費用明細

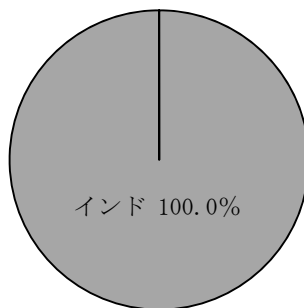
項目	2013年6月5日～ 2014年6月4日
(a) 売買委託手数料 (株 式)	3円 ( 3)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	1 ( 1)
(c) 保管費用等	5
合計	9

● 資産別配分

現金・その他 4.3%

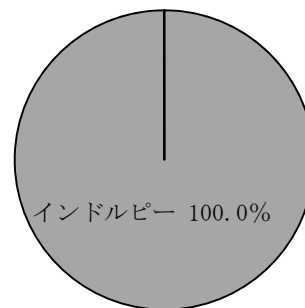


● 国別配分



● 通貨別配分

日本円 0.0%



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2014 年 6 月 4 日現在のものです。

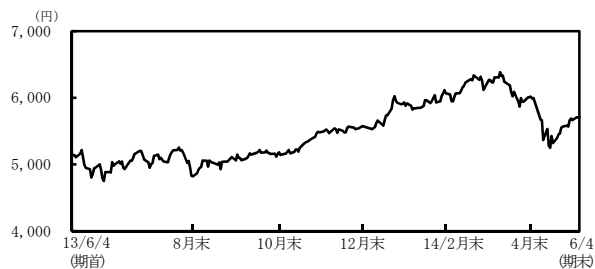
(注2) 1 万口当たりの費用の明細は、「SBIAM インド株・マザーファンド」の直近の決算期のものです。費用項目については 2 頁の注記をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

※表示単位未満は四捨五入しており、合計が 100%にならない場合があります。

【SBIAM ベトナム株・マザーファンド】(2014年6月4日現在)

● 基準価額の推移



● 1万口当たりの費用明細

項目	2013年6月5日～ 2014年6月4日
(a) 保管費用等	4円
合計	4

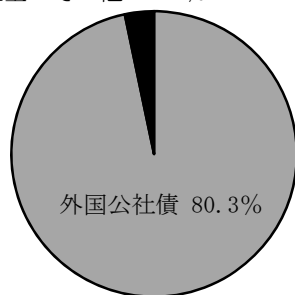
● 組入上位10銘柄

銘柄名	種類	比率(%)
ベトナム乳業	食品・飲料・タバコ	23.43
ベトロベトナム・ドリリング	エネルギー	6.61
マサングループ	食品・飲料・タバコ	6.06
FPTコーポレーション	ソフトウェア・サービス	5.84
ホアファットグループ	素材	5.81
ハウザン製薬	医薬品他	4.59
HAGL	不動産	3.42
キンダー食品	食品・飲料・タバコ	3.01
ベトコムバンク	銀行	2.95
バオベトグループ	各種金融	2.87
組入銘柄数	23銘柄	

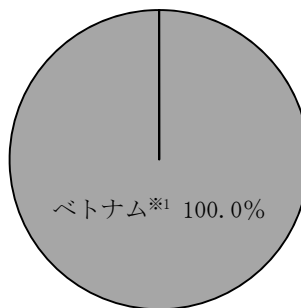
※当マザーファンドの純資産額総額に対する比率です。  
 ※組入銘柄はすべて株価連動債です。  
 ※同一企業の異なる発行体による株価連動債は、原則として1つの銘柄に合算しております。

● 資産別配分

現金・その他 19.7%

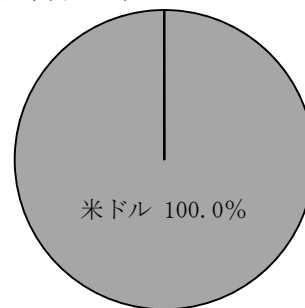


● 国別配分



● 通貨別配分

日本円 0.0%



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2014年6月4日現在のものです。  
 (注2) 1万口当たりの費用の明細は、「SBIAM ベトナム株・マザーファンド」の直近の決算期のものです。費用項目については2頁の注記をご参照ください。  
 (注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。  
 ※表示単位未満は四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります。  
 ※1 ルクセンブルグで発行されているベトナムの株価連動債に投資しております。

## 指数に関して

### <「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数の著作権等>

- 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。  
なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。
- MSCI KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。  
なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。
- MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）は、MSCI inc. が開発した、世界の新興国の株式対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。  
なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。
- NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。  
なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。
- シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）は、Citigroup Index LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。  
なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。
- JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースイファンインド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。  
なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースイファンインドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLC に帰属します。